

ShinBeam

User Manual



注意

ご使用前にこの説明書をよくお読みになり、将来参照できるよう保管してください。

- ・本機は非防塵・非防水仕様です。
- ・火災や感電の危険を軽減するため、プロジェクターを雨や霧にさらさないでください。
- ・純正の電源アダプターをご使用ください。プロジェクターは指定された定格電源で動作する必要があります。
- ・プロジェクターの動作中は、レンズを直接見ないでください。強い光が目に入り、軽い痛みを引き起こす可能性があります。
- ・お子様は大人の監督の下でプロジェクターを使用してください。
- ・プロジェクターの通気口を覆わないでください。過熱するとプロジェクターの寿命が短くなり危険です。
- ・プロジェクターの通気口を定期的に掃除しないと、ほこりが冷却不良を引き起こす可能性があります。
- ・油分、湿気、ほこり、煙の多い環境ではプロジェクターを使用しないでください。油や薬品は故障の原因となります。
- ・日常使用の際はお取り扱いにご注意ください。
- ・プロジェクターを長時間使用しない場合は、電源を切ってください。
- ・専門家以外がテストやメンテナンスのためにプロジェクターを分解することは禁止されています。

構造の説明

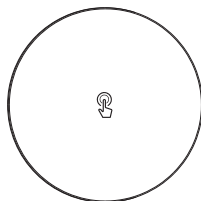
プロジェクターの画像と機能の説明は参考用です。予告なく変更される場合がございます。当社は最終解釈の権利を留保します。

☰ メニュー

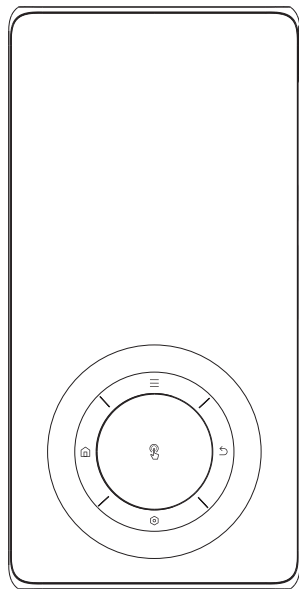
🏠 ホーム

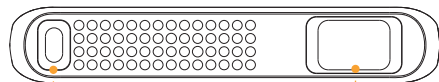
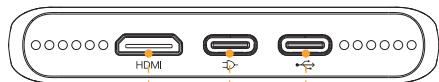
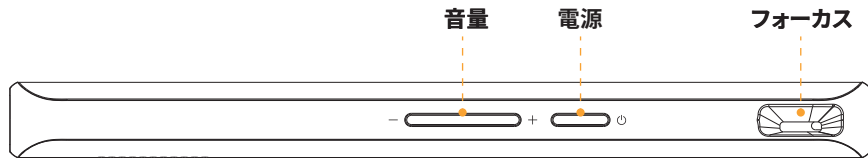
↶ リターン

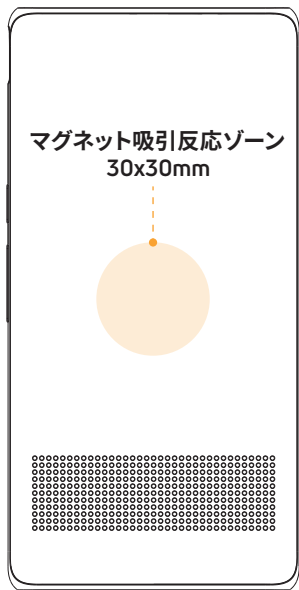
⚙️ セッティング



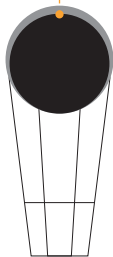
タッチパネル



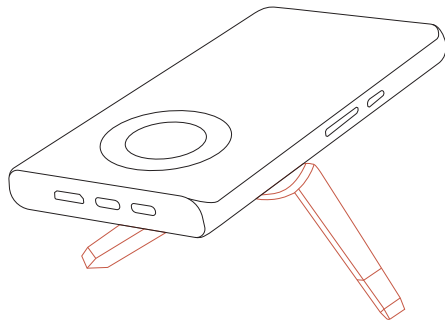


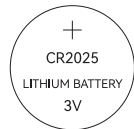
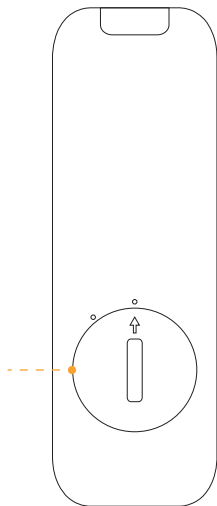
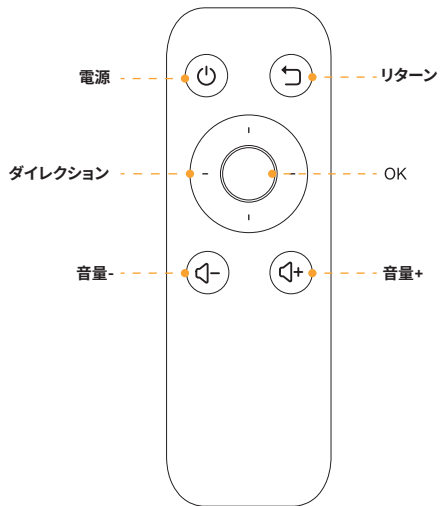


マグネット

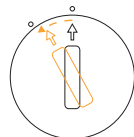


マグネット三脚





ボタン電池



左でカバーをオープン

電源のオン/オフ

1. 電源オン: プロジェクターの電源がオフのときに、電源ボタンを長押しして 2S の電源をオンにします。プロジェクターの電源がオフの場合、2S のリモコンの電源ボタンを長押しして電源をオンにします。
- 2. 電源オフ: プロジェクターの電源がオンのときに、電源ボタンを 2 秒間長押しして電源をオフにします。プロジェクターの電源がオンのときに、2S のリモコンの電源ボタンを長押しして電源をオフにします。



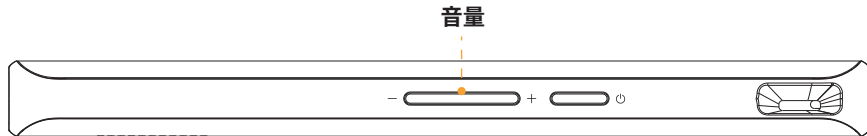
シャープネス調整

プロジェクターの右側にあるフォーカス ホイールを回転させて、画像の鮮明さを調整します。
集中



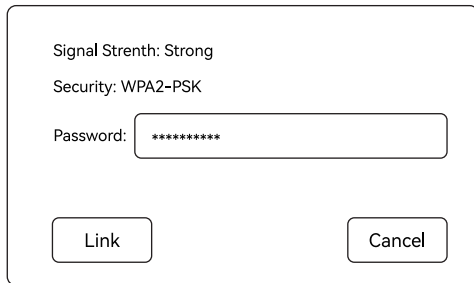
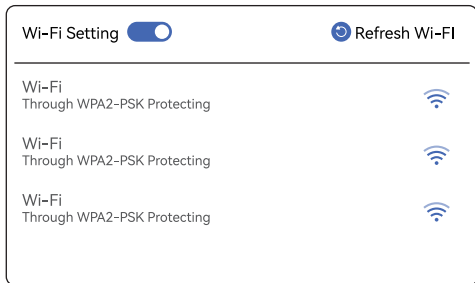
音量調整

デバイスの音量ボタンを使用して、個人のお好みに応じて音量を調整します。



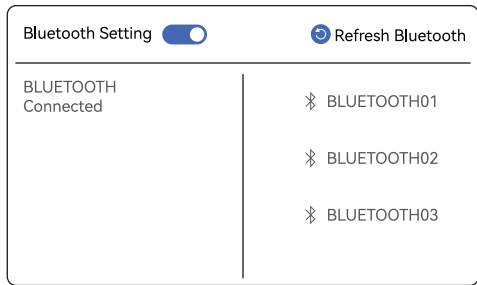
ネットワーク設定

- 設定 - ネットワーク設定 - WiFi設定、WiFiを「オン」にします。
- WiFi リストでワイヤレス ネットワークを選択し、パスワードを入力して接続します。



Bluetooth設定

設定 - Bluetooth設定、Bluetoothを「オン」にして、「更新」をクリックします。



投影設定

投影設定に進み、投影モード、台形補正設定、明るさ設定を設定します。



投影モードの設定

ユーザーは4つの投影モードを選択でき、デバイスは標準ビュー、標準天井ビュー、背面投影ビュー、背面投影天井ビューをサポートします。



台形補正の設定

ユーザーは自動台形補正と手動台形補正の2つのモードを選択できます。



明るさの設定

投影の明るさはリモコンで調整できます。

言語設定

設定に進み、言語設定でシステム言語の変更できます。



言語設定

ここでは、英語、フランス語、ドイツ語、ロシア語、中国語、日本語、およびその他の国の言語に切り替えることができます。

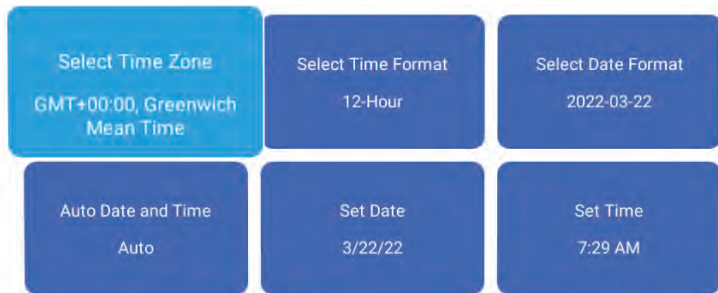


入力セレクトター

複数の入力メソッドがインストールされている場合、ここで入力メソッドを管理できます。

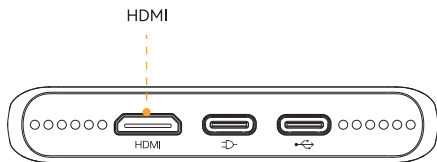
日付と時刻の設定

設定 - 日付と時刻の設定に進み、タイムゾーン、時刻形式、日付形式、自動日付と時刻、日付などを設定することができます。



HDMI

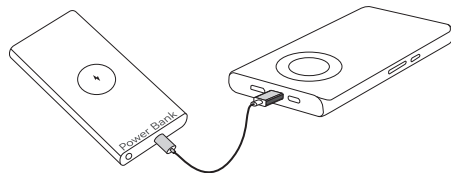
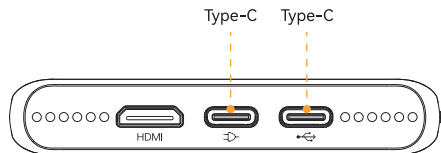
- ・HDMI 機能は、主に他の機器からの信号をプロジェクターに入力し、メインインターフェイスの HDMI アイコンをクリックして、HDMIモードに切り替えます。
- ・HDMI は 1.4 および 1080P@60fps (最大) をサポートします。



HDMITM
HIGH-DEFINITION MULTIMEDIA INTERFACE

Type-C

- Type-C ケーブルミラーリングは、主流のデバイスをサポートします。Type-C は PD3.0、QC2.0 下位互換性をサポート、充電器 5V 3A/9V 2A/12V 1.5A。
- Type-C インターフェイス定義：データ伝送と給電の両方をサポートし、ブラインド挿入もサポートします（Type-C の一端は給電に使用され、Type-C の他端はデータ伝送に使用されます）。

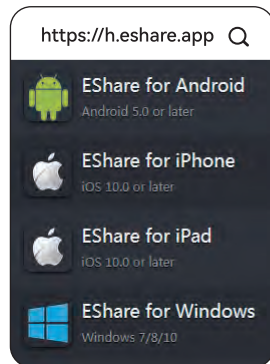


モバイルバッテリーとスマートフォンの充電ケーブルを準備し、充電ケーブルの一端をプロジェクターのType-Cポートに接続し、もう一端をモバイルバッテリーに接続すると、プロジェクターの電源をオンにして使用できます。

アプリダウンロード

デバイスとプロジェクターが同じネットワークに接続されていることを確認してください。

- ・デバイスのエクスプローラーで <https://h.eshare.app> にアクセスします。画面のヒントに従って「EShare」をダウンロードしてインストールします。

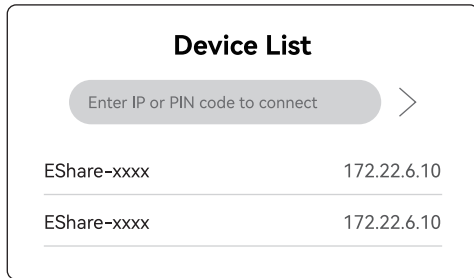


Android 用 EShare の手順

デバイスとプロジェクターが同じネットワークに接続されていることを確認してください。

EShareのインストールが完了したら、スマートフォンで「EShare」を実行すると、同じネットワークを共有しているプロジェクターが自動的に検索され、上部のデバイスリストをクリックして再度検索し、デバイスを確認します。

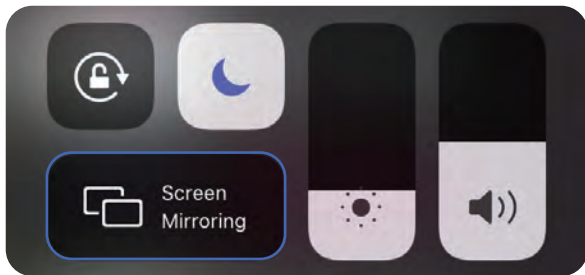
デバイスリストでデバイス名をクリックすると接続が構築されます。デバイスが1台だけの場合、プロジェクターは自動的にデバイスに接続します。



iOS 向け EShare の手順

デバイスとプロジェクターが同じネットワークに接続されていることを確認してください。

iPhoneの画面を下から上にスライドさせ、「画面ミラーリング」をクリックして、リストからデバイスを選択して画面を共有します。

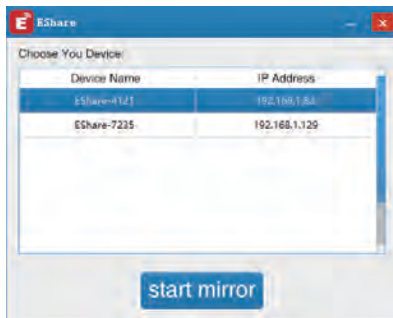


Windows 用の EShare 手順

デバイスとプロジェクターが同じネットワークに接続されていることを確認してください。

「EShare」を実行すると、EShare が同じネットワークを共有するプロジェクターを自動的に検索します。

デバイスを選択し、デバイスリストでプロジェクター名をクリックし、「ミラー開始」をクリックして接続を構築します。



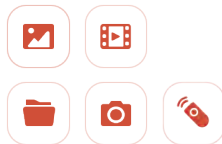
Eシェア機能のご紹介



デバイスが正常に接続されたら、「画面を共有」をクリックして画面を転送します。



スクリーン内の「TVミラー」の機能は、プロジェクターからスマートフォンに写真や機能を転送することです。



下部の機能モジュールは、写真、ビデオ、音楽、ファイルをデバイスに転送できます。ワイヤレスカメラはスマートフォンのカメラを通じて画像をデバイスに転送でき、マイクを開いて音声の入出力を実現できます。スマートリモコンは、携帯電話の画面上でマウスをシミュレートしてデバイスをクリックすることができます。